



「理事長交代のご挨拶」

おくやまはつき ぜんりじちよう
奥山葉月 (前理事長)

2006年(平成18年)11月より16年間、理事長を務めさせていただきましたが、5月13日理事会にて解任となりました。また、同日付で鈴木徳子が新理事長に就任いたしましたことも重ねて、お知らせ申し上げます。

1999年2月高橋修が志半ばで亡くなり、そのあとを野口元理事長、野上元理事長が障害者運動を継続し、法人を守り、また事業を発展させての引継ぎでした。当初は入職7年目であった自分より法人でのキャリアがある職員も多く、また慣れない業務ばかりで、務められるのかと不安な思いしかありませんでしたが、理事、監事の皆様、職員、CIL会員の皆様からご支援いただいたことで、16年という長い年月を続けることができました。本当にありがとうございました。

昨年11月に郵便や法人ホームページで文書にてお伝えした経済的虐待の責任は前理事長にあると考えており、被害者の皆様、ご家族の皆様、この件を受けて不安に思われた方、これまで法人に信頼を寄せてくださった方、応援して下さった方々に対し、責任を取りたいと私自身も強く望んでいました。

被害者への対応も継続しており、業務改善計画もはじまったばかりです。この問題の解決、再発防止に向けた業務改善にこれからも、法人職員として取り組んでいく所存です。

今後とも自立生活センター・立川へのご支援をよろしくお願いいたします。

2021年度 福祉ホットライン〈障害者地域自立生活支援センター事業〉 事業報告

(1) 相談業務

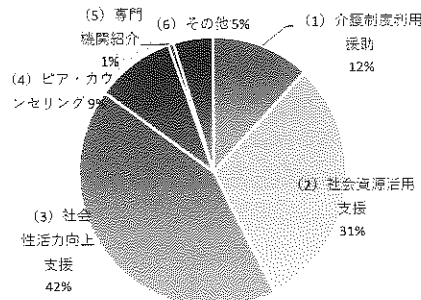
● 個別相談件数

(1) 介護制度利用援助	209件	(4) ピア・カウンセリング	168件	計：1766件
(2) 社会資源活用支援	545件	(5) 専門機関紹介	11件	
(3) 社会性活力向上支援	749件	(6) その他	84件	

コロナ感染予防の為、対面でなく電話等での相談が多い状況が続きました。

既にCILの他部門で相談を受けている方のご家族や、過去に相談を受けた方の紹介で、新規の方からの相談を受けました。

また、コロナ禍で直接対面出来ない状況の中、緊急入院、入院中、退院後の手続きや調整が困難な状況が続いています。



(2) その他業務、会議など

● 自立支援協議会

全体会：5月12日（書面開催）、10月4日（対面開催）、3月7日（対面開催）

コロナの影響のため1回目は書面開催となり、2回目より対面開催に戻ることが出来ました。前年度の継続課題やコロナ対応の検討をすすめ、次年度に取り組むべき課題を検討共有しました。

【令和4年度の自立支援協議会 共通課題】とぎれ・すきまのない支援体制の構築/障害の重度化・多様化・高齢化及び親の役割変化に対応するための体制の構築/福祉の人材確保と資質の向上

● 地域生活支援拠点事業 コーディネーター

コーディネーター会議：4月22日、6月24日、7月29日、9月30日、10月28日、11月25日、12月23日、2月24日、3月24日

主にサービス未利用者の方を中心に、当団体では5名の方にご登録頂きました。コロナ禍の影響が続き、事業所訪問やサービス未利用者への直接的なアプローチは行えませんが、他のコーディネーターと連携した支援や、福祉ホットラインの新規相談者へ向けた拠点事業に関する情報提供等に努めました。

● 立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例 相談窓口

今年度は肢体不自由の方から1件のご相談をいただきました。対象となったのは立川市役所の駐車場での対応に関するトラブルでした。立川市障害福祉課へ報告し、今後の対応改善に向け、調整を行いました。

● 立川市工事課からの斜路利用実態調査の協力

柳通りと立川通り西側歩道を結ぶ斜路が、道路・橋梁新設工事の為、撤去も含めて検討される事となり、工事課担当の方から、斜路を利用されている障害者の有無、利用されている場合の対策等の相談を受け、市内の障害者、その関係者へのヒアリングの協力をしました。今回、このような場が設けられた事は、障害者の立場としてとても安心出来ました。また、この調査のヒアリングから、道路・公園のバイク等の進入を抑制する柵について、障害者から提案していくべき課題も見え、次の活動へのヒントを得る事が出来ました。
(鈴木 徳子)

たちかわししょうがいしゃしゅうろうしえん
立川市障害者就労支援センター はたらこ — 2021年度 事業報告 —

[1] 登録者の状況 (表参照)

引続きコロナ禍ということで2020年度からの大きな変化はありませんでした。利用問い合わせの総数は67件で、精神・発達障害者が約45%、知的障害者が約22%、在職中の方から約48%で、企業から障害のある従業員についての相談も7件ありました。

正しく新規登録した方は31名でした。知的障害者19名、精神障害者10名、身体障害者2名でした。利用登録された方の紹介経路は、支援学校などの高等部新卒者16名(5校)、福祉サービス事業所5名(うち定着支援事業から2名)、ハローワーク3名、障害者職業センター1名、企業

3名、訓練校1名、行政1名、ご本人から直接が1名でした。登録時の状況は、未就労の方が4名、在職中の方27名でした。新卒者も含め、在職中の方の定着支援のご依頼が増えています。

年間の就職は27件でした。仕事内容は、メール集配や軽作業も含めた事務系9名、小売店6名、病院や高齢者施設などでの周辺業務3名、施設清掃3名、飲食店3名、製造現場での軽作業2名、クリーニング工場1名でした。また、就職先として特例子会社が10件ありました。

一方、離職は11件で、すべて自己都合によるものでした。内容としては転職希望4名、不調4名、家庭の事情1名、働く意識不足2名でした。離職後の状況としては再就職を果たした方が4名、在宅の方が4名、福祉就労へ転換した方が3名でした。

また、年度末で登録終了した方は8名でした。転居などで他の支援機関に引き継いだ方4名、福祉就労へ移行した方2名、支援を利用しないとされた方2名についても終了させていただきました。

[2] 訓練等プログラム

市役所実習は緊急事態宣言などで4回の実施にとどまり、8名が参加し、うち3名の方が就職を果たされました。別枠で行っている市内通所施設利用者を対象とした年1回の市ゴミ袋セット作業には、市内B型2施設から4名の体験参加がありました。残念ながら、らばーと職場体験実習はコロナ禍により中止となり、高齢者施設清掃実習は第5波と6波のすき間になんとか1回だけ実施できました。

[3] 利用者交流プログラム

・ **夕食会**

知的障害の方を対象とした木曜日の夕食会は29回実施し、毎回平均約12.6名、年間のべ364名が参加されました。9月以降は人数や回数制限をせず、時間短縮と感染予防を徹底したうえで実施しました。

・ **お楽しみ会**

知的障害の方を対象とした交流会として1回のみ実施しました。参加者は29名でした。「トークとクイズ」をテーマにし、コロナ禍での苦労・工夫などをグループに分かれて聞きあいました。

・ **茶話会**

精神・発達障害の方を対象にオンラインが可能な事前にアンケートをとり、「働き方について」というテーマで、ハイブリッドで1回実施しました。Zoomホストは初めてで緊張しましたが、オンラインのほうが話やすい、参加しやすいという意見もあり時代の変化を感じました。(白部貴子)

登録者状況 (2022年3月31日)			
① 人数	245名		
② 性別	男性 172名	女性 73名	
③ 年齢	10代 17名	40代 39名	
	20代 91名	50代 28名	
	30代 65名	60代 5名	
④ 障害	知的障害 183名	精神障害 47名	
	身体障害 13名	知的判定 2名	
⑤ 状況	一般就労中 229名		
	就職準備等 16名	(福祉施設通所含む)	

登録時の状況は、未就労の方が4名、在職中の方27名でした。新卒者も含め、在職中の方の定着支援のご依頼が増えています。

じりつせいかつぶ 自立生活部 — じぎょうほうこく 事業報告 —

■おすすめスポット 通信取材 「みの一れ立川幸町店」

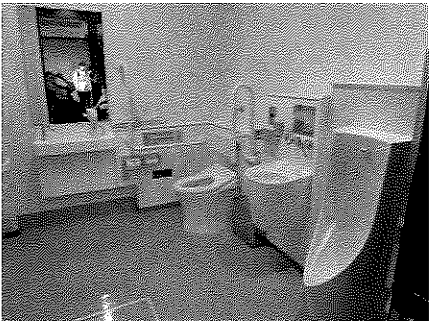
今回は、新しく立川市幸町にできた「みの一れ立川幸町店」をおすすめスポットとして取材してきました。「みの一れ立川」といって、地元で採れた新鮮な野菜を販売するファーマーズセンターとして砂川町にお店がありますが、この幸町店はその姉妹店として令和2年7月オープンし、多摩モノレール泉体育館から徒歩5分くらいで行けるので、とてもアクセスしやすい場所にあります。



みの一れ立川幸町店は砂川町店と違いコンパクトなお



店となっておりますが、立川をはじめ国立・昭島・東大和・武蔵村山で採れた地場野菜から日本各地で採れた新鮮な果物まで、安心と安全の国産野菜をほぼ年中無休（年末年始のみ休み）で購入することができます。



バリアフリー面では、段差もなく“だれでもトイレ”が設置されており、車いすでの利用はもちろん、オストメイトの方も利用できます。駐車場も車いす対応のスペースが整備されています。お買い物のお手伝いが必要な際は、店員さんにご相談頂ければ可能な限り対応もさせていただきます。



季節の旬な野菜がいちばん売れるとのことですが、砂川町店と協力し合い、できる限り売り切れが出ないように努めているとのこと

です。驚いたことは、地元立川で桃、梨などの果物も時期によって収穫され販売されることもあるそうです。地元の新鮮な野菜や果物を気軽に味わってみてはいかがでしょうか。

(大石 幸治)



「みの一れ立川幸町店」

立川市幸町1-14-1

TEL :042-535-3711 営業時間9:30~16:00

年中無休（年末年始のみ休み）

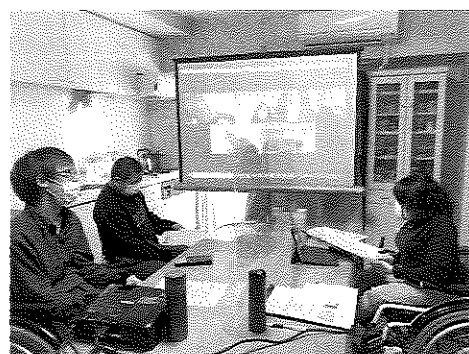
■ピア・カウンセリングプログラム「みんなのピア・カウンセリングタイム」(2月9日) 参加者3名

今回のピア・カウンセリングプログラムでは、2年以上続くコロナ禍の影響で、日々もやもやをため込んでいるであろう障害のあるなかまたちと、直接会って気持ちを聞き合い、互いにエンパワメントし合おうと企画しました。とはいえ対面開催を決めるまでには、そのリスクも含めて担当者間でもとても悩みました。しかし、感染対策として手指消毒の徹底、マスクとフェイスシールドの着用、ソーシャルディスタンスの確保及び定期的な換気等、可能な限りの準備をして開催することにしました。

当日は欠席者もあり3名のみ参加となりましたが、コロナ禍で感じた不安やストレス・仲間とのつながりの変化等について気持ちを聞き合う事が出来「久しぶりに対面で話すことができて本当によかった。」と熱い感想をいただきました。改めて、相手の存在を生で感じられる中で、思いを共有する事で得られる安堵感、そこから生まれるパワーの強さを実感できるプログラムでした。(鈴木 徳子)

■防災プログラム「みんなで高めよう!防災と減災のための防災意識」(3月16日) 参加者12名

自立生活センター・立川も会員となって協力している市民団体「立川市災害ボランティアネット」では、市民の方に防災力を高めもらうため「防災・減災のしおり」を作成しました。しおりには、首都直下地震の概要や避難所のしくみ、日頃から備えるべき食品・日用品など様々な情報を掲載しています。また、しおりを閲覧した方に、今後の立川市災害ボランティアネットの活動に向けた意見・感想を広く募集していることから、障害当事者の立場からの思いを発信することを目的としてプログラムを開催しました。参加された方の防災意識の向上だけでなく、障害当事者の声を届けることで立川市の防災・減災事業に働きかけていく内容としました。zoomを活用したオンライン中心のプログラムとしましたが、当日参加が難しい方にはしおりを配布し、後日意見を頂いても反映できるよう配慮しました。



プログラム前半はしおりの内容に加え、地域の情報を盛り込んだレクチャーを事業担当者より行いました。後半は、しおりや防災に関する意見を聞き合いました。障害状況は様々でしたが、自然災害に対してどのように考えているか、自分ができる備蓄などの工夫を出し合うことができ、仲間同士のつながりやエンパワメントを感じて頂く機会となりました。(廣瀬 麻美)

■協力員スキルアップ研修「交通エコモ財団の取り組みから学ぶ」(3月30日) 参加者5名

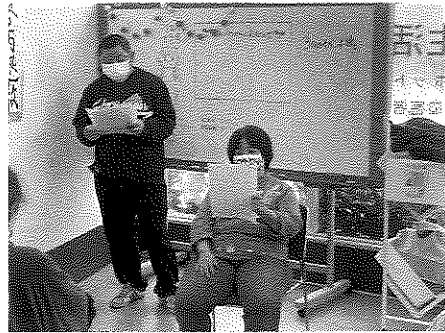
交通バリアフリーの推進を自指して様々な活動をしている「交通エコロジーモビリティ財団(エコモ財団)」のスタッフの方をオンラインで講師にお招きし、協力員スキルアップ研修を行いました。

エコモ財団では、小中学校等でバリアフリーについての授業を実施する際に使用できるオリジナルの教材を作成し、子どもたちを対象としたバリアフリー学習プログラムを行っているということで、今回の研修では教材の内容の紹介を中心にこの活動についてお話いただきました。また、エコモ財団のプログラムの中では、実際に街で困っている人に出会った際のお手伝いは自分のできる範囲で考えればよいというメッセージを大切にしているとのことで、「困っている人に直接手を貸すことだけでなく、自分たちだけで対応することが難しいと思ったら周りの大人に声をかけて協力を求めることもお手伝いになる」と伝えていたお話がありました。

参加者からは、「出前講座等の際に子どもたちへどのように伝えればよいのかという点でヒントを得られた。」という感想が多くあがりました。(櫻井 未来)

知的事業

■「第1弾 ひとり暮らしのお部屋プログラム～お気に入りのお部屋を作ろう～」(3月5日)



これまで知的事業では、ひとり暮らしのためのプログラムを多数開催してきました。今回のプログラムのテーマは「ひとり暮らしのお部屋」。将来ひとり暮らしを考えている、ひとり暮らしに興味がある参加者に向けて、ひとり暮らしをする際に必要なこと・必要なものについて具体的なイメージが出来るように今回のプログラムを開催しました。今回は4名の方が参加して下さいました。

「みなさんのお部屋にはどんなものがおいてありますか？」

と尋ねられたら、何が思いつくでしょうか？初めにこの質問を参加者に投げかけ、改めてひとり暮らしに必要な家具・家電は何かを考えていただきました。参加者からの回答は様々でしたが、重なるものもいくつかありました。全員の回答を踏まえ、プログラムで使う必要最低限の家具・家電を確認し、1Kのお部屋のイメージ画像も共有しました。

プログラムのサブリーダーであり、長い間ひとり暮らしをされている泉口さんには、参加者がお部屋作りをスムーズに取り組みめるよう、必要に応じて参加者のサポートも行っていました。ダンボールで作成した家具・家電の模型を使い、1Kのお部屋と見立てた事務所の一室で、参加者それぞれの「ひとり暮らしのお部屋作り」がスタート。参加者一人ひとり決められた時間の中でお部屋作りに励んでいました。用いた模型は全て同じものでしたが、なにをどこ



に置くのかは参加者によって大きく異なり、オリジナリティあふれる「お気に入りのお部屋」が作られました。お部屋を作った後は、実際にひとり暮らしをする時の参考となるよう写真に収め、後日プログラムのお礼状と一緒に送付しました。また、他の参加者のお部屋を見学する時間を設けたことで、様々な家具・家電の置き方があること、色々なお部屋のかたちの発見もありました。今回のプログラムの目的であった“ひとり暮らしのために必要なことを学ぶ”、“ひとり暮らしのお部屋の具体的なイメージが出来るようにする”ことが達成できたのではないかと思います。引き続き、ひとり暮らしに必要なことについて学べるプログラムを開催していきたいです。



プログラムを企画、運営した内山さん、泉口さん、参加者の方々の感想を一部掲載します。

内山さん：プログラムは楽しく行なえました。参加者のみんながし

っかりとプログラムをやってくれて良かったです。ただ、室内で出来るプログラムもいいけれど、外出が出来るようなプログラムもやりたいです。

泉口さん：無事にプログラムを終えることが出来て良かったです。前回のプログラムに参加してくれた人も引き続き参加してくれ、久しぶりに参加してくれた人もいらっしや、こうして繋がっていくのはいいことだと思います。

参加者：お部屋を作ることが出来て楽しかったです。他の人のお部屋が良かったです。将来ひとり暮らしをしたいという気持ちが強くなりました。
(樺 志野)



生活介護事業所 えんばわ

★お花見に行ってきました！in根川緑道／3月30日 水曜チーム★

桜が咲き始めると、一気に春を感じてお出かけしたくなりますよね。えんばわの近くには、根川緑道というお花見スポットがあります。桜の時期は、子ども連れのファミリー、ペットとお散歩中の人、お年寄りのご夫婦など、様々な人たちが賑わう場所です。えんばわでも桜の時期は毎年足を運んでおり、今年もみんなでお花見をしてきました。今年の桜は暖かい気候により一気に花が開き、その後の雨であつという間に散ってしまうという短い命でしたが、ちょうど満開の頃、お天気にも恵まれ、絶好のタイミングで見に行くことができました。現地では桜をバックに写真を撮るたくさん撮って楽しんでいたメンバーさん。柴崎体育館駅付近から川沿いを進み、残堀川とぶつかる場所まで歩いて行きました。残堀川沿いには菜の花が自生しており、運が良ければ桜と菜の花のコラボレーション



を見ることができるのですが…残念。今年はまだ菜の花がまばらでした。それでも、たくさん歩いて良い汗をかきながら、最高のお花見となりました。下にメンバーさんの感想を載せています。

【メンバーさんの感想】

アンジェラ：満開の桜が見られてとても良かった。
ダンディー：あったかくて天気が良くて絶好のお花見日和でした。
あけみちゃん：久しぶりに根川に行きました。桜だけでなく、鯉や雑草まで綺麗に見えました。



★「ポピーを見に行こう！」in昭和記念公園／5月18日・30日 水曜チーム・月曜チーム★

暖かい季節になり、みんなでのお出かけできるようになってきました。という事で、久しぶりにメンバーさんと昭和記念公園に行ってきました。昭和記念公園へのお出かけは去年の11月、イチヨウを見に行ったとき以来です。今回の目当てはポピー。砂川口から歩いて5分ほどの場所にある「花の丘」というエリアに、一面に咲き誇るポピーがあるらしいという噂を聞きつけ、お散歩がてら見に行きました。噂通り、そこには丘にびっしりと咲いた真っ赤なポピーが！ポピーの色はオレンジや黄色を想像していたため、意外でした。

花の丘という名前だけあって、散策コースは想像以上にアップダウンの激しい場所。メンバーさん、そして職員も坂に苦しめられながら、綺麗なポピーに心を癒されつつ、頑張ってコースを進みました。すると途中、ポピー畑に白いドアが出現。どうやらフォトスポットのようです。ドアの横に立つと素敵な写真が撮れそうだったため、みんなで順番に撮影しました。流行りの「インスタ映え写真」を撮ることができ、満足なメンバーさん。思い思いのポーズで撮影を楽しみました。丘を最後まで下り、うしろを振り返って散策コースを見上げてみると…。坂一面に見事に咲き誇るポピーを一望することができました。ちょうど良い場所だと思い、最後に集合写真を撮影。坂の辛い散策コースを頑張って歩いたご褒美のような、綺麗な写真を撮ることができました。お天気にも恵まれ、気温が高くなりすぎることなく、心地よい風が吹く中の絶好なポピー日和となりました。下にメンバーさんの感想を載せています。



【メンバーさんの感想】

中島：ポピーがとても綺麗で良かったです。
ダンディー：ポピーがすごく綺麗でした。普段の嫌なこともポピーのおかげで忘れることができました。

あけみちゃん：色とりどりのポピーで、雑草まで綺麗に見えました。

※外出の際は感染対策を行い、写真撮影時以外はマスクを着用しています。

(金井 春奈)

私たちの動き (2/1~5/31)

() は担当部門名 C I L・H L・就労
※印はオンライン

【イベント・行事の実施】

(C I L)

- ・出前講座(大山小, 第一中, 第六中)
- ・ピア・カウンセリングプログラム
「みんなのピア・カウンセリングタイム」(2/9)
- ・知的事業プログラム
「第1弾 ひとり暮らしのお部屋プログラム
～お気に入りのお部屋をつくろう!～」(3/5)
- ・防災プログラム「みんなで高めよう!
防災と減災のための防災意識」(3/16)
- ・協力員スキルアップ研修
「交通エコモ財団の取り組みから学ぶ」(3/30)
- ・I Lプログラム「インバケア
新車をみんなで見てみよう!」(4/27)
- ・おすすめスポット取材
「みの一れ立川 幸町店」(5/13)

【連絡会・委員会・連携業務】

(C I L)

- ・立川市自立支援協議会運営会議(2/14※、5/16)
- ・多摩療護園オンブズパーソン(2/17、3/25)
- ・りらく定例会(2/17、3/17、4/21、5/19)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会定例会(2/23、3/17、23、5/19)※
- ・りらく病院訪問(2/24、3/24、4/28、5/26)※
- ・立川市災害ボランティアネット総会(2/26、4/23)※
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会地区別懇談会(3/2)
- ・立川市自立支援協議会地域移行専門部会(3/4、4/22)
- ・立川市自立支援協議会全体会(3/7)
- ・立川市障害を理由とする差別解消
まちづくり協議会(3/7、5/16)
- ・立川市精神障害にも対応した地域包括
ケアシステムの構築に向けた全体会(3/15)
- ・障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を
考える会選挙管理委員会との懇談会(3/23)
- ・立川市災害ボランティアネット定例会(3/29)※
- ・多摩療護園利用者・職員懇談会(4/13)
- ・立川市指定特定相談支援事業所連絡会(4/26)
- ・立川市地域公共交通会議(5/27)

(H L)

- ・立川市障害者週間実行委員会(2/17、4/21、5/19)
- ・立川市地域生活支援拠点等事業
コーディネーター会議(2/24、3/24、4/28、5/26)
- ・立川市自立支援協議会相談支援専門部会(3/3、4/21)
- ・立川市自立支援協議会全体会(3/7)

(就労)

- ・立川市自立支援協議会運営会議(2/14、5/16)
- ・東京都障害者就労支援関係機関意見交換会(2/24)※
- ・自立支援協議会全体会(3/7)

・たちせいれん(5/20)

【外部への見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・J I L関東ブロック・T I Lセミナー
「介助サービスの現状と課題」(2/10)※
- ・自立支援協議会就労専門部会・
相談支援部会共催研修会(2/18)※
- ・サービス管理責任者更新研修(2/24)※
- ・東京都相談支援専門員ネットワーク相談支援専門員
フォローアップ研修(3/13)※
- ・T I L総会(3/17)※
- ・J I L運営研修会
「コロナ禍での自立支援」(3/22)※
- ・T I L学習会「相談支援とC I L」(4/21)※
- ・風よ君の声がする
～海老原宏美を想うみんなの集い～(4/22)
- ・I L Pリーダーズ(5/11)
- ・「PARA HOOP FES!」
ハートフルマルシェ(5/14)
- ・ヒューマンケア協会・自立生活センター日野・
I LみなみTama共催ピア・カウンセリング
オンライン集中講座(5/19、20、26、27)※
- ・東京都医療福祉事業所内
メンタルヘルスケア研修(5/21)※
- ・D P I日本会議総会(5/28)※

(H L)

- ・立川市障害者虐待防止センター講演会(2/1)※
 - ・立川市自立支援協議会就労専門部会・
相談支援部会共催研修会(2/18)※
 - ・東京都相談支援従事者主任研修
(2/24、25、3/1、3、4)※
 - ・東京都障害支援区分認定調査員等研修(5/30、31)※
- (就労)
- ・立川市障害者虐待防止センター講演会(2/1)※
 - ・令和3年度東京都就労支援機関連携スキル向上事業
定着支援研修(2/4)※
 - ・立川市自立支援協議会就労専門部会・
相談支援部会共催研修会(2/18)
 - ・東京労働局主催就労支援セミナー(3/11)※
 - ・ぜんち共催セミナー・年金講座(3/12、19)※

【講師派遣】

(C I L)

- ・小平特別支援学校(2/7)※

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

- ・平山 裕子 様 ・村山 綾 様
- ・杉本 雅彦 様

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F
TEL : 042-525-0879 FAX : 042-521-3134
URL : <http://cilt.sakura.ne.jp/>
Mail : cilt@sh.rim.or.jp